



外國掛

横須賀製鐵所書類

方印  
人



114  
A3024  
3

一  
模須賀黄舎規則

黄舎ハ学ヲ願フ者ニ士民ニ不拘父兄又ハ  
近親身寄ノ者ノ引請ヲ立ベシモ之商人  
田学中大病ナルカ或ハ不法ノ所為アルカ  
教師ノ指令ヲ不取用等ハ引請人ハ達シ  
退黄セシムベシ

但生徒入黄中微病小疾等ハ内外科  
共醫藥ヲ官給ニテ療治セシムベシ

民部省

大正十一年四月  
侯爵郵寄贈

一  
入学生徒ノ年齢ハ十三四歳ヨリ二十歳  
以下ヲ以テ限リトス尤モ格別令例ナルカ  
又ハ既ニ試学アルノ徒ハ限外ノ年齢タルモ  
取札ノ上入費ヲ許スベシ

一  
入学中食及襦古ニ用エル器械書籍紙  
筆墨ノ類ハ官ヨリ支給スベシ生徒自身ニ属  
スル費用ハ又兄又ハ近親自寄ノ者ヨリ是ヲ  
辨スベシ

一  
学科ハ器械ヲ主目トスルニ自ラ順序アレ  
ハ先ツ諸学ヨリ入り稍文義ヲ解シテ後数学ヲ  
学ビ而後其能ニ從テ科ニ附カシムベシ  
總テ學向上ノ規則ハ教師ノ主宰スル所  
ナレハ成規ニ從テ勉学スベシ縱令生徒未能  
ノ科不可堪ノ勤ト看做スモ勉テ教師ノ  
令ニ從ヒ更ニ自ラ督勵シテ其事ヲ遂ルヲ  
要スベシ

入學ノ年限ハ其者成業ニ遅速アルベケレハ  
豫メ定限ヲ立カタシト云ハ実事有用ノ  
学科一二ヲ修熟セザル前ハ退費ヲ許サズ  
一学科ニ達シテ退費ヲ欲スル者諸科ヲ  
學ビ得テ自用又ハ人ノ求メニ供セントスル者  
凡都ニ実事其業ノ試験ヲ經サハ退費  
ヲ許サズ

但実事試験ノ年限ハ当初入費ヨリ

一科又ハ諸科ヲ成業セシ歲月ノ半ヲ  
以テ定則トス譬ハ入學ヨリ一科熟達マ  
テ三年ヲ經レハ更ニ一年半ノ試験ヲ免メ  
五年七年ニテ諸科修業セシ者ハ二年  
半三年半ノ試験業ヲ為スベシ尤モ一科  
諸科凡成業ノ上試験ニ及フヘキノ期限ハ教  
師ノ監定ニ從フベシ

実事試験ノ勤満テ退費スル者ハ其学科

熟達ノ免許状ヲ渡シ何處何姓名夫レノ学  
科ニ達シ試験業相濟ニヨリ免許状ヲ與  
ヘタル肯趣新聞紙ヲ以テ世間ニ公布スベシ  
退黨ノ期ニ至リ政府ヨリ入用アリテ其者ヲ  
傭使スレバ其能ニ從テ傭價ヲ公定シテ  
雇入ヘシ  
右ニ通規則相定候事

午三月

第 二十号

海官ニ付テハ其能ニ從テ傭價ヲ公定シテ  
雇入ヘシ

相立横濱貿易港割製所修取場並  
没多之ク其府藩録ニ考公同所  
告相成ホツ格ニシテ公定之所希若大  
意書相流世傳中進也

三月十七日

民部省

つね友

其申

何之通御布告  
相成後事



十六

第二十号

福官

熟達、免許状ヲ  
科ニ達シ試験業  
ヘタル肯趣新聞  
退賞ノ期ニ至リ  
備使スレバ其能  
雇入ベシ  
右之通規則  
午三月

相成後事  
没多之ハ其  
告相成後事  
意書相成後事  
三月十七日



大藏

三月晦

監督

百六十七番

十四

民部 大藏 卿

大隈 大輔

監督 同 權 正

監督 大 少 佐

出納 正

出納 大 少 佐

伊藤 大 少 輔

中村 權 大 丞

坂本 少 丞

瀨 郷 少 丞

履 玉 乃 少 丞

島 權 少 丞

水谷 桑 相 傳 信

横 濱 製 衣 鉄 所 傳 習 生 徒 寄 宿 所

民部 省



法取建舟同受造之者、中立入費之  
廣出入用之可相立分、有之候由教  
及由達也

三月晦日

民部省

神奈川縣

權知事

大 奉 事

中

坂田出納權正版

横濱製鉄所、傳習生徒寄附金  
是處、是多人、取、其、名、を、以、て、  
假寄附金、其、候、由、同、所、造、之、者、  
一、三、右、之、諸、入、費、中、官、一、  
一、其、之、由、地、上、之、諸、一、取、扱、  
細、之、事、由、急、中、城、一、  
一、及、由、是、合、也

三月廿九日

坂田出納權正

神奈川 民部省

梅田大参事

中野大参事

井関権知事

民部省

大由丞

印

杉原啓表佛人テス。ハキ工信料 指在

リヨシヨニ一 旅費有借之儀也。守屋君ヨシ方

以取斗ヨシ方朱借付機立以権田君中ノ通

以得代初ヨシ方朱及ヨシ方連ヨシ方

四月廿日 伊豆民部大参事

大隈民部大参事

井関権知事及

民部省

中野大冬事度

横田大冬事度

横田少納権事度

横田賀美事度人テスパキ工徳科増年  
 リツシヨニ一詔費拜偽忠事度有之忠答  
 抄より取去る旨附書状出度年奉事度  
 写事度抄中紙張事度別別我  
 事度事度事度事度事度事度事度

己月十九日

坂田出紙権正

極國大寺事

中野大寺事

丹波大寺事

大隈氏部大補夜

浮及氏部大補夜

横瀬賀額所出府佛人テスハキニ交ハル百  
 六拾八年卯五月十日九月三十日迄拾科増儀  
 別帝通リ首長カクテ得テ右極過云云即之  
 拾科只今ニ至ルテ其ノ不都合カクテ誤リ交過リ  
 其ノ方ニテ其ノ所成カクテ其ノ方ニテ其ノ方ニテ  
 コニ於テ本國婚姻カクテ積存一ツ向テ其ノ拜儀  
 之義中ニ其ノ方ニテ其ノ規則カクテ其ノ成カクテ其ノ得カクテ  
 其ノ方ニテ其ノ所成カクテ其ノ方ニテ其ノ方ニテ其ノ成カクテ其ノ方

否れ何處に至るも越えざるを以て後世に傳へ  
て留めお成る其節、當るべきに違ふ者之を依て  
別答評議曰く二箇に流し及ぶ所也

曰り也

坂田出酒権正

櫻田大参事

中野大参事

井関権知事

大隈民部右補左

何處民部右補左

廿六  
洋銀三百三拾弍弗五拾四セト

但リツヨニ一多ク再出  
旅費也也

二  
由在佛人リツヨニ一私用  
向一付様渡分佛金七セ一止極費

口  
洋銀三百三拾弍弗五拾四セト

口  
口以コニスタニテ一物丸  
向一付様渡

惣洋銀百六拾弍弗八セト

あつる三十年分也

首七  
ウエルニ  
切込後  
ノルニ



出張大藏  
初定役  
ノル  
ニ